

8. 実現に向けた方策の提案

前述した「3. 施策検討の方針」「4. 持続可能な循環型社会の構築に向けたプロジェクト【7分野】」「5. カーボンニュートラルの実現に向けた基本的な考え方」「6. 脱炭素社会実現に向けた数値目標」を踏まえ、プロジェクトの推進及び脱炭素社会の実現に向けた目標を達成するために、以下の3つの方策を提案する。

1. 長岡市エネルギービジョン(仮称)の策定

本提案で示した考え方を基として、2022年度に新たな長岡市エネルギービジョン(仮称)(以下、「ビジョン」という。)を策定する。新しいエネルギービジョンでは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、本市の特性や課題を十分に踏まえるとともに、「カーボンニュートラルに向けた基本的な考え方」で示した4つの視点を踏まえ、多様な施策を盛り込む。

2. 具体的な施策の推進

ビジョンで示された具体的な施策に基づき、各種の具体的な取組を推進する。その際の視点として、「施策検討の方針」で示した「省エネ・再エネの有効活用」「産学官連携と市民協働による実施」「地域の環境と経済の好循環」の考え方を踏まえる。

また、取組についてはビジョンに例示したものだけでなく、社会情勢や技術動向等を踏まえ、野心的なチャレンジを積極的に展開し、目標の達成を目指す。

なお、2050年カーボンニュートラルを実現するためには、様々な先進的な技術を取り込んで脱炭素化を進めていくことはもちろんだが、根幹となる市民一人ひとりの意識の変革、ライフスタイルの転換も重要である。このため、ビジョンには学校や地域における環境教育や学習など、未来の長岡を担う人づくりの視点を盛り込む。

3. 進捗管理の実施

プロジェクトの推進及び脱炭素社会の実現に向けた目標の確実な達成を図るためには、取組内容の進捗管理が必要不可欠である。計画の進捗の度合いを示すための定量評価指標として温室効果ガスの排出目標等を定め、進捗状況を確認・評価する。

取組の進捗状況は、庁内における関係各課により評価するとともに、客観的に評価するために学識経験者や市内関連事業者などが参画する組織等に報告する。

また、社会情勢や技術動向の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを図る。

さらに、取組の進捗や成果を広く公開することにより、市民や企業の行動変容を促し、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進する。